

■浜口梧陵(儀兵衛7代)

はまぐちごりょう

・・・・・ 1820 =

醤油醸造業者。大地震に“稻むらの火”で村民を津波から救い、私財投じて堤防築造。維新後も人望。

紀伊国有田郡広村で、遁世して本願寺の道場を開いた管領斯波氏家臣を祖とし、下総銚子で醤油醸造業を始めた浜口家の分家に生まれる。

シボル事件・1828= 8歳 :

シボル追放・1829 = 9歳 :

富嶽三十六景1831=11歳 : _後継ぎが無かった本家の養嗣子となり、家業を見習うため銚子に赴く。

家訓に従って、丁稚小僧と寝食をともにする、厳しい生活を送ながら、刻苦勉励、
高島砲術・・1834=14歳 : 元服。

大塩平八郎乱1837=17歳 :

適塾ホーリン。 1838 = 18歳 :

蚕社の獄・・1839=19歳 : 帰郷して、湯浅の池永右馬太郎の娘と結婚し、
勧進帳初演・1840=20歳 : 銚子に戻る。

_武芸と学問の修養にもつとめ、とくに槍術の奥義を極める一方、幕府の蘭方禁制で銚子に移住してきた三宅良齋に出会い、多くの西洋事情を学び、終生の師となる。

阿部正弘首座1845=25歳 :

・・・・・ 1847 = 27歳 :

国定忠治礎・1850=30歳 : _佐久間象山に入門し、兵学や砲術を学ぶとともに、勝海舟と出会い、以後、経済的に支援。

尊徳報徳論・1851=31歳 : *帰郷し、村内の青年らを集めて、国家の危急存亡を説き、農兵{広村崇義団}を組織し、

万次郎帰国・1852=32歳 : _統いて、西洋文明の長をふまえた青少年教育のため、{稽古場}を開設するが、

ペリー来航・1853=33歳 : _義父が死去したため、家督を相続し、{ヤマサ醤油}7代儀兵衛となり、江戸に赴く。鎖国攘夷論を批判して、老中小笠原亮岐守と会う機会を得、幕府に欧米諸国視察しようと運動するも許されず、再び、帰郷して、人材育成に努め、佐久間象山からゲール銃も購入。

開国開港・・1854=34歳 : *強い地震があり、津波の襲来を村民に警告して避難させ、青年を動員して食事の世話までし、平常に戻つたので帰宅させたところ、村民から井戸水の異常な減少が報告され、けた違いの大地震が起り、逃げ遅れた者を救助していると、津波が襲来、路傍の稻むらに火を放って、避難路を示し、かなりの村民を救済するとともに、藩に御救米下付を働きかけ、自らも拠出、やがてあちこちから援助がくるも、村民が立ち直るには不足、家50軒を新築して極貧者には無料で、農具や漁具の分配や資金貸付などをした後、村民へ職を与えることを兼ねて、防波堤築造計画を藩に申請、

安政大地震・1855=35歳 : _許可が下りて着工、

松下村塾・・1856 = 36歳 : _{稽古場}を移転し、{耐久社}と命名。

五ヶ国条約・1858=38歳 : _完成させ、その功で、独礼格地主となる。江戸でコレラが流行すると、銚子の町医者に予防・治療法を学ばせ、波及を食い止める。江戸の西洋医学所が大火で焼失すると、300両を寄付し、

桜田門外変・1860=40歳 : _再建が実現すると、図書や器具購入のためと、さらに400両寄付。

禁門の変・・1864=44歳 : _幕府から特ヤマサ醤油がに品質に優れると認められ、最上醤油の称号を与えられる。

薩摩藩土密航1865 = 45歳 :

薩長同盟・・1866=46歳 :

明治維新・・1868=48歳 : _青年男子による農兵組織を藩主に建言。蟄居を解かれ抜擢された津田出の藩政改革に、勘定奉行で協力。

戊辰戦争終・1869=49歳 : *藩の參政から藩校學習館知事となり、学則等を改革する一方、英語学校共立学舎を設立。藩主に随行して東京に出、有田郡民政知局事、名草郡民政知局事、和歌山藩權大參事となる。

初の日刊新聞1870=50歳 : 農兵組織案は、津田出による「兵賦略則」公布によって日本初の徵兵制に実を結ぶ。

廃藩置県・・1871=51歳 : _東京藩庁詰になると大久保利通に認められ、駅逕正に抜擢され、駅逕頭となるも辞し、藩大參事となる。

学問のすすめ1872=52歳 : この年、學習館は廃校となる。

明治6年政変 1873=53歳 :

佐賀の乱・・1874 = 54歳 :

大久保暗殺・1878=58歳 : _「府県会規則」が制定され、和歌山にも県会が設置されると、最初の議長となる。

明治14年政変1881=61歳 : _県会議長を固辞するも、県令の懇請で引受け、国会開設準備を訴え、国会設置の詔が出て、

新体詩抄・・1882=62歳 : _自由民権運動も転換、県下代表らが結集した{木国同友会}の会長に選出される。

岩倉具視没・1883 = 63歳 :

秩父事件・・1884=64歳 : *家業を子に譲り、一切の公職を退いて隠居すると、宿願の洋行を計画、家族・友人には知らせず、勝海舟と福沢諭吉にのみ決意を告げて、渡米するが、

内閣発足・・1885=65歳 : _病魔に冒され、ニューヨークで客死した。